

## 会 議 概 要

会 議 名	令和3年度 第1回豊橋市上下水道事業経営検討委員会
開 催 日 時	令和3年12月13日(月) 午後1時30分から午後3時30分
開 催 場 所	豊橋市上下水道局 5階 大会議室
出 席 委 員	稲田充男委員(会長)、井上隆信委員(副会長)、小杉賀洋子委員 塩瀬真美委員、新田眞一委員、林正幸委員
欠 席 委 員	齊藤由里恵委員、戸田敏行委員
事 務 局	牧野上下水道局長、前田上下水道事業推進監、芳賀総務課長 田口営業課長、藤井浄水課長、岩田水道管路課長、石黒下水道施設課長、 小山下水道整備課長、夏目総務課主幹、森下浄水課主幹、原田水道管路 課主幹、正岡下水道施設課主幹、夏目下水道整備課主幹、峰野総務課課 長補佐、伊藤営業課課長補佐、伊藤水道管路課専門員、高木総務課主査、 飯田総務課主査、石黒総務課主査、長久総務課主査、浅岡総務課主査、 丸亀総務課主任、後藤総務課主任、細江総務課事務員
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長挨拶</li> <li>3. 上下水道局長挨拶</li> <li>4. 委員紹介</li> <li>5. 職員自己紹介</li> <li>6. 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和2年度決算について</li> <li>(2) 豊橋市上下水道ビジョン2021-2030について</li> <li>(3) 豊橋市上下水道ビジョン2021-2030の進捗確認方法について</li> </ol> </li> <li>7. その他</li> <li>8. 閉会</li> </ol>
配 布 資 料	次第 資料1 令和2年度決算概要 資料2 豊橋市上下水道ビジョン2021-2030 資料3-1 豊橋市上下水道ビジョン2021-2030の進捗確認方法について 資料3-2 豊橋市上下水道ビジョン2021-2030進捗管理表 資料3-3 豊橋市上下水道ビジョン2021-2030評価シート(案) 座席表 委員名簿 令和2年度決算書 報道発表資料(湖西市との協定締結) 報道発表資料(マンホール広告)等 上下水道局だより No.13、No.14
会 議 の 公 開 又 は 非 公 開	公開(傍聴者なし)

令和3年度 第1回豊橋市上下水道事業経営検討委員会 要録

発言者	会議の概要
会 長	<p>1. 開会 (略)</p> <p>2. 会長挨拶 (略)</p> <p>3. 上下水道局長挨拶 (略)</p> <p>4. 委員紹介 (略)</p> <p>5. 職員自己紹介 (略)</p> <p>6. 議題 (1) 令和2年度決算について 「令和2年度決算について」事務局説明を求めます。</p>
事務局 会 長 委 員	<p>資料1「令和2年度決算概要」説明 事務局の説明に対し、質問・意見を伺いたい。</p> <p>資料1（令和2年度決算概要）1頁（1業務量）のうち自己水と県水の割合について、自己水は地下水の涵養運用を行い、それでも不足する分は県水を購入しているという説明だったが、地下水を多く使っている企業等は把握しているのか。また、水道と地下水の比率を把握しているか。地下水を多く使用する企業がいたら水道水のために水を確保できないと考える。</p>
事務局 委 員	<p>市内全域の地下水の使用状況については、環境保全課が管理している。企業がどれぐらい地下水を取水しているかは把握できていない。</p> <p>水道水を使用している大口需要者が地下水に移行して、水道水の使用が減っているところもあると思う。涵養運用しないといけない地区で、地下水を多く取水する企業があれば自己水を確保するため、条例等で取水制限をかけるなど、対策が必要であると考えている。</p>
事務局 委 員	<p>上下水道局としては、できるだけ水道水を使ってもらえると有り難い。地下水を使用している大口需要者などが水道使用に切り替えるよう、対策を検討していきたい。</p> <p>資料1（令和2年度決算概要）5頁（1業務量）において、「水洗化人口」という言葉が出てくるが、合併浄化槽でも水道水で流す「水洗」だと思ふ。水洗化とは、下水道に接続した人口なのか。その定義を説明してほしい。</p>

発言者	会議の概要
事務局	水洗化人口は、下水道に接続した人口を指し、排水人口は、下水道を利用することが可能になった人口を指す。
委員	<p>国などで決められた呼び方なら仕方ないが、そうでないのであれば、市民にもわかりやすい言葉にした方が良いと考える。</p> <p>資料1（令和2年度決算概要）6頁（3予算執行状況のうち（2）資本的支出）において、不用額の主なものが工事費ということだが、コロナ禍で工事ができず、企業債を発行しなかったため収入が減ったと理解したが、実施できなかった工事は、次年度に持ち越して予定より多く実施するのか。それとも、年間の実施できる工事の数は限られているので、令和3年度に予定している工事の一部を令和4年度で実施するのか。</p>
事務局	工事費の不用額は、新型コロナウイルスが関係しているものではなく、入札差金である。また入札差金もそのまま残として残すのではなく、管更生の延長を変更契約で延ばすなど、効率的に使っている。
委員	豊橋市上下水道事業経営検討委員会の開催が1回であれば、決算だけでなく予算の説明もあった方が良く考える。
事務局	豊橋市上下水道事業経営検討委員会は年2回開催していきたいと考えているが、今年は新型コロナウイルスの関係で実施できなかった。次年度から予定どおり実施できるのであれば、予算について説明をしていく。
委員	NPO法人東三河水道サポーターズの設立背景、事業内容を説明してほしい。設立されたNPO法人が、いわゆる天下り先になっていないか。
事務局	豊橋市上下水道局で水道事業に従事していた技術系職員OBが中心となり、豊橋市上下水道局とは別組織として令和2年度4月1日に設立した。主たる目的は水道技術の継承であり、豊橋市上下水道局と協働して事業を行う中で、技術を継承してもらっている。具体的には、小学校4年生向けの出前講座や東三河の山間部への技術支援（施設の整備・修理など）を連携して行い、謝礼を支払っている。
会長	次に議題（2）豊橋市上下水道ビジョン2021-2030について事務局説明を求めます。
事務局	資料2「豊橋市上下水道ビジョン2021-2030」説明
会長	事務局の説明に対し、質問・意見を伺いたい。
委員	料金改定をしないと事業を継続できないのはそのとおりである。しかしながら、現状の水道料金と下水道使用料を比較すると、逓増度に差がある。拡張期は大口需要者が恩恵を受けるので単価を高くするのはわかるが、水道は維持管理の時代に入っているので、拡張期と同じ逓増度では大口需要者から理解が得られないのではないか。一方で、逓増度を低くすると家庭にしわ寄せがいつてしまうので、難しい問題ではあるが、その辺りも料金改定の際に検討した方が良く。

発言者	会議の概要
事務局	水道料金の逡増度（上がり方）が急であることは否めない。前回の料金改定が昭和59年であり、まだ拡張期であったことから、今の実態とは合わなくなりつつある。今後の料金体系の制度設計にあたっては、どのぐらいの逡増度が適切なのかを精査していく。
委員	資料2（豊橋市上下水道ビジョン2021-2030）31頁（4企業債残高）について、令和3年度から令和12年度にかけて1.6億円減少しているが、拡張が見込めないのであれば、企業債残高を減少させる方向で検討してほしい。 一方、下水道については、71頁で令和3年度から令和12年度にかけて企業債残高72億円増加しており、拡張事業に起因するものであれば良いが、公営企業として借金が膨らむ体質になってはいないか。企業債残高を減らす方向で努力した方が良いと思う。
事務局	企業債の増加が拡張に起因するものであれば、下水道使用料の増加によって回収に繋がるが、老朽化に伴う施設整備に対する借入であれば、注意した方が良いというご指摘について、確かに老朽化した施設の改修に必要な財源に対し発行した企業債が増加の原因となっている。10年間では増加となるが、ストックマネジメントとして、より経済的に施設を維持管理するという考えの下、施設改修を行っているので、将来的には施設の更新費用が減少するものとする。今後も注視しながら進めていく。
会長	次に議題（3）豊橋市上下水道ビジョン2021-2030の進捗確認方法について 事務局説明を求めます。
事務局	資料3-1「豊橋市上下水道ビジョン2021-2030の進捗確認方法について」説明 資料3-2「豊橋市上下水道ビジョン2021-2030進捗管理表」説明 資料3-3「豊橋市上下水道ビジョン2021-2030評価シート（案）」説明
会長 委員	事務局の説明に対し、質問・意見を伺いたい。 資料3-3（豊橋市上下水道ビジョン2021-2030評価シート（案））のうち、総合評価でCやDとなったとき、課題や次年度の取り組み欄に記載されると思うが、すぐには解決できない課題もあると思うので、その辺りを記載できるような欄があっても良いと考える。
事務局 委員	課題の欄の隣あたりに、対応や対策を記載できるように工夫する。 資料3-2の進捗管理表のうち、「主な取り組み②水道管更新の推進」の3つの項目について、「更新計画に基づき施工」となっているが、各項目延長がどのくらいで、各年度どれくらい実施するという計画が策定されているのか。具体的な数値の計画があり、それに対しての進捗が無ければ評価できないと考える。

発言者	会議の概要
事務局	<p>水道管耐震化事業を行っており、市内の重要給水施設250箇所に通ずる管路を整備する計画を策定している。さらに、水道管老朽化対策事業として、耐用年数を超えたものを市独自の基準で優先度を付け、市街化区域内を優先的に順次進める計画を策定している。</p>
事務局	<p>ビジョン期間の10年間のうち、水道管の耐震化については最初の5年間で40km弱、水道管の更新はおよそ6kmを実施。続く5年間で、水道管の耐震化は40km弱、水道管の更新は20km強を実施予定。水道管の更新は、上下水道局独自で更新基準年数を設けており、それを超えないように順次更新している。個々の路線は、所有者等との調整が計画策定時には明確にできないため、およその場所については計画を立てているが、調整によっては前後があり得るので、各年どれぐらい実施するかなど明確には計画を立てていない。水道管の耐震化は、給水人口が多いところから順次実施している。初年度から5か年は更新基準年数に達する水道管が少ないため、水道管の耐震化を集中的に行う予定。耐震化の延長としては前半後半ともに40km弱ではあるが、前半は大口径を実施するので、事業費が高くなる。</p> <p>令和元年度時点で耐震化適合率が40.8%あるので、残る約60%を20年間で実施していく予定。ビジョン期間中の10年間で30%を実施、次の10年で30%を実施し、合わせて100%を目指す。</p>
委員	<p>計画の見直しは、中間地点の令和7年度なのか。これまでの計画は期間が長いので、近頃は時代の流れに合わせて3年ほどで全面的に見直しをかける計画もある。本ビジョンの考えを聞きたい。</p>
事務局	<p>基本線は、中間地点で見直しをかけたい。ただし、5年待たずして、計画の妥当性がなくなった際には軌道修正を検討する。</p>
委員	<p>中間地点で見直しということだが、5年間の実績を待ってから見直しをかけていては、見直しにも1～2年かかるので、見直した時には残りの計画期間が2、3年といったこともあり得る。見直したビジョンを令和8年度から実施できるように、令和7年度中には改定してほしい。</p>
委員	<p>料金改定を行う前には何かしらのアクションがあった方がよい。</p>
委員	<p>料金改定をせざるを得ない雰囲気資料の作りになっているが、料金改定のタイミングでビジョンの見直しを図るなど、何かしらのアクションが無ければ市民の理解は得られないのではないかと。</p>
委員	<p>一度、実施してみないと分からない部分もあると思うので、分かりやすい評価シートを検討しながら進めてほしい。</p>
会長	<p>他に意見はありませんか。</p> <p>意見が出尽くしたようなので、本日の意見は事務局で検討をしていただくことになる。</p>

発言者	会議の概要
	<p>本日の議題はこれで終了とする。</p>
事務局	<p>7. その他</p>
	<p>各課からのお知らせ</p>
事務局	<p>資料「報道発表資料（湖西市との協定連携）」説明</p>
事務局	<p>資料「報道発表資料（マンホール広告）等」説明</p>
事務局	<p>説明に対し、質問・意見を伺いたい。</p>
委員	<p>マンホール広告の募集はどのように行ったのか。募集に対しすべて応募があった訳ではないので、宣伝方法が適正だったのか。</p>
事務局	<p>ホームページへの掲載に加え、ケーブルテレビのティーズでの放映、広報広聴課を通じてインターネット広報を実施。Yahoo!にも掲載された。</p>
委員	<p>まちなかの賑わいの一環なので、せっかく実施するなら、市民だけでなく、市外・県外の方も見に来ていただくような工夫があった方が効果は大きいと思った。</p>
委員	<p>マンホール蓋にSDGs推進パートナーとなっているが、SDGs推進パートナーに募集したのか。また、マンホール広告へ申込みをしたら、SDGs推進パートナーにならないといけないのか。</p>
事務局	<p>未来創生戦略室と連携してPRしている。SDGs推進パートナーでなくても申込みは可能である。その場合は、「豊橋市上下水道局」と入る。</p>
委員	<p>地下水を管轄しているのは環境部という話でもそうだが、大口の事業者を増やすためにも部署間の連携を図ってほしい。水道は水道といった縦割りの雰囲気を感じているので、連携を取りながらアグレッシブに動いてもらえるとより良い上下水道局になると思う。</p>
事務局	<p>SDGs推進パートナーの推進も企画部との連携のひとつであり、他部局との連携は重要なことなので、大切にして取り組んでいきたい。最後に数点コメントをさせていただきたい。</p>
	<p>●自己水、大口転換について</p>
	<p>市内全域の地下水については環境部が把握しており、情報交換を取りながら進めている。大口転換についての問題は、平成26、27年度頃にあったが、その後は落ち着いている。一方、都市によっては一定程度まで使用すると使用料が安くなるといったところもあるので、引き続き勉強しながら検討していきたい。</p>
	<p>●水洗化人口について</p>
	<p>話しをする相手によって、より分かりやすい言葉を使うようにしていきたい。</p>
	<p>●NPO法人について</p>
	<p>14人ほど在席しており、事務費を含めて全体予算が、記憶にある限りだと4、5百万なので、それだけで生業にできるものでもない。</p>

発言者	会議の概要
事務局	<p>●遡増度について ご指摘のとおり豊橋市は遡増度が高い。 前回、下水道の使用料改定時には変更できなかったもので、次回はしっかりと検討したい。</p> <p>●ビジョンの見直しについて 社会状況の変化があれば修正していくのはもちろんだが、使用料改定とビジョンの見直しのサイクルを合わせている。市の総合計画が5年毎に見直しをしているので、それを基本とし、使用料は令和5年度（見直しは前年度）と令和8年度（見直しは前年度）を計画しているので、令和7年度にはビジョンの見直しと使用料を併せて整理していきたい。</p> <p>8. 閉会 本日の会議はこれにて終了とする。</p>